

## 令和5年度事業計画

新型コロナウイルス感染症の拡大から4年目に入ったが依然収束の兆しが見えない状況であります。また、ロシアが昨年2月にウクライナに侵攻し1年が経過しました。欧米諸国のウクライナ軍への軍事支援が強固になりウクライナ情勢が一段と緊迫化し、エネルギー等の原材料費の高騰は日本経済に大きい影響が大変心配される場所でもあります。

一方、国は、「ウィズコロナ」として、日常生活を取り戻すため感染症対策の基本方針を改定し、家庭、学校、職場、地域等あらゆる場所で日常を取り戻すことができるようすすめている。今後、飲食や娯楽などサービス業の回復により経済活動が盛んになるものと思われます。

当センターにおいても人手不足分野での就業機会が、今後、増えてくるものと考えられ、会員の就業へのマッチング、新入会員の増加に向けての取り組みを強化し町民のニーズを的確に捉えて活力ある地域社会づくりに貢献する目的の役割を果たしていくことが重要になってきます。

このように高齢者が可能な限り地域の担い手として活躍し、年齢に関わりなく働くことができる「生涯現役社会」の実現の一翼を担うシルバー人材センターを目指すことが求められています。

今年度のシルバー人材センターの運営にあたっては、引き続き新型コロナウイルス感染防止の基本対策を徹底し、お客様から安心と信頼を頂けるように努めるとともに、一人でも多くの会員が就業につくセンターを目指します。

シルバー人材センターの発展には、会員拡大と就業機会の確保が両輪であり、引き続き女性限定の入会説明会や休日の入会説明会を定期的実施します。また、社会情勢やセンターに寄せられる町民ニーズを把握し、事業所訪問や独自事業の実施に向け検討を致します。安全就業については、就業マニュアルに基づくチェックシートを活用した安全対策に取り組むほか、適正就業ガイドラインによる就業推進に努め引き続き会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。

本年10月からのインボイス制度導入によりシルバー人材センター運営が一段と厳しくなる中で、役職員はもとより会員一人ひとりがこれまで以上に様々な経験と知恵を生かしながら「自主・自立、共同・共助」の基本理念のもと高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与できるように取組み地域の皆様のご理解が得られるよう令和5年度事業計画を次のように取り組みでまいります。

## I. 基本方針

1. 中長期的な事業の推進（会員確保、就業機会確保の推進）
2. 安全・適正就業の改善と充実
3. 高齢者活用・現役世代サポート事業の推進
4. 研修・講習の開催
5. 健全な財政運営
6. 互助会への協力

## II. 実施計画

### 1. 中長期な事業の推進

シルバー人材センターの将来にわたり継続可能なあり方について、あらゆる手段を講じて機能強化を図ります。

- (1) 会員による友人、知人へ「ひと声」の口コミ運動による会員紹介等を展開し、「新入会員」の確保及び休日入会説明会の実施。
- (2) ポイント制度の会員へのさらなる周知により、各種行事等へ積極的参加の推進と獲得ポイントによる特典の贈呈と退会抑止を図る。
- (3) 「教養講座、各種研修会」を開催し、会員の魅力あるセンターを目指す。
- (4) 空き家・空き地管理事業、ワンコインサービス事業等を展開し、地域の環境整備、人にやさしく住みよい街づくりに貢献する。
- (5) 町の広報紙の活用はもとより「シルバーだより」及び「ホームページ」、「CATV」で実施事業の広報のほか、事務所に就業情報の掲示など様々な情報をタイムリーに町民や会員に発信する。
- (6) 社会奉仕活動、イベント等を通して町民へシルバー人材センターをアピールする。
- (7) 独自事業実施に向け委員会にて検討する。

### 2. 安全就業の徹底と適正就業の推進

安全就業は最も重要な課題であり、重篤事故の防止と事故の撲滅を目指し「安全に終わりはない」を重点目標とし、「安全ミーティングの実施」「安全装備品使用の徹底」「作業マニュアルの遵守」「健康診断受診の奨励」を図り会員の意識高揚を図り安全就業・健康管理及び交通安全の推進に努めるとともに、ルールを守らない会員には注意警告、指導等を行う。

適正就業ガイドラインにより発注者及び会員に適正就業の周知を図り、法令遵守にそった就業により、会員が安心して働ける環境を整える。

- (1) 職群班研修等にて事故発生、事故防止策などの周知徹底
- (2) チェックシートで安全作業の実施確認
- (3) 就業現場のパトロール強化
- (4) 「臨、短、軽」の就業形態のコンプライアンスを徹底する

(5) シルバー連合会と連携し、労働者派遣事業及び職業紹介事業の推進

3. 高齢者活用・現役世代サポート事業の推進

事業所、一般家庭等へシルバー派遣、有料職業紹介事業並びに請負による就業を促進するため、事業所訪問及び高齢者活躍人材育成事業等を活用し就業会員の確保に努め、就業延人員の目標数値を達成する。

4. 研修・講習の充実

(1) 現会員のスキルアップと後継者育成のための技能講習等を事業委員会と合同で継続して開催し知識、技能の向上を図り、就業機会の確保及び技術継承等に努める。

(2) 富山県シルバー人材センター連合会が実施主体となり行っている高齢者活躍人材育成事業の受講者の入会を図り、新たに人手不足分野の就業を確保する。

5. 独自事業実施に向け検討

清掃等による落葉を活用し落葉堆肥事業実施に向け先進地視察を含め実施に向けての検討。

6. 健全な財政運営

運営の合理化による経費の削減を図るとともに、事業費補助金の有効活用を図る。

7. デジタル化に向けての検討

定期的にスマートホンの取り扱い講座を開催し、会員が情報を自身で閲覧できるように向けて手順の検討を行う。

8. 互助会への協力

会員互助会による会員相互の親睦と連帯意識の高揚のため、自主的な福利厚生の実施に協力する。